

## 夜間景観実態調査について

### 1 概要

本市における夜間景観の現状を把握し、課題を抽出するため、デルタ市街地のみならず、田園地域や島しょ部も含め、景観照明の施策効果が高く、かつ効率的に実施することができる地区をモデル地区として設定し、モデル地区ごとに、夜間の光環境（色温度、グレア、鉛直面の明るさ、陰影のバランス）について現地調査を行った。

### 2 調査対象地区

調査対象モデル地区 10 地区 + 歴史的建造物 5 施設・展望台 2 か所

【詳細は、資料 2 を参照】

### 3 調査期間

令和 6 年（2024 年）11 月～令和 7 年（2025 年）2 月

（広島駅周辺地区については、上記期間中は駅ビル及び駅前広場が工事中であったため、令和 7 年 10 月に調査。）

### 4 調査方法

以下の調査項目に対する目視調査に加え、適宜、照度計により照度を測定した。

項目※	調査方法	評価指標
色温度	目視により確認	白色（5,000K 程度）
		混在
		電球色（3,000K 程度）
グレア	目視・写真撮影により眩しさの有無を確認	有り
		無し
鉛直面の明るさ	目視・写真撮影により適切に鉛直面の明るさが確保されているかを確認	有り
		無し
陰影のバランス	目視・写真撮影により陰影のバランスを 5 段階で評価	暗い、暗すぎる
		最適（バランスが良い）
		明るすぎる

※ 魅力的な夜間景観を形成する「あかり」の基本原則（8 原則）のうち、「色彩光の配慮」については、各地区全体的に評価を行うのではなく、色彩光を使用した演出照明等を行っているものに対して評価を行うこととし、それぞれ考察の中でその要素を取り入れることとした。

また、「演色性」、「オペレーション」及び「環境への配慮」については、現状調査で改善点を抽出するものではなく、照明整備を行う上で配慮すべき事項であることから、本調査では現状を調査する項目にしていない。